

令和7年度 保健体育科私学研修会（報告）

1. 日 時 令和7年10月20日（月）13：30～（受付13：00～）
2. 会 場 清水国際高等学校 礼拝堂
静岡市清水区天神1丁目4-1 （電話）054-366-4155
3. 参加者 保健体育科教員 34名
4. 部会目標 たくましい体力と豊かな情操を育てる
5. 講演テーマ 講演1「自分を見つめて（対人地図作り）」
講演2「相手を理解する（傾聴）」
6. 日程・内容
13：30～13：40 開会式
部会長挨拶 杉本 芳和先生（浜松日体中・高等学校 校長）
会場校校長挨拶 相澤 優次先生（清水国際高等学校 校長）
13：45～15：15 講演①「自分を見つめて（対人地図作り）」
講演②「相手を理解する（傾聴）」
講師 高橋信由 氏
（元東海大学附属静岡翔洋高等学校・中等部 学校長）
15：20～15：30 質疑応答・閉会

【アンケートより】とても参考になった52% 参考になった42% 物足りない5%

- ・自分を見つめる方法(対人地図作り)や傾聴の大切さを学ぶことができました。また、アイスブレイクの重要性も学ぶことができました。
- ・人間関係の地図を作成することによって自分を見つめ直すことができ、生徒一人一人に寄り添える指導ができるということ。傾聴することで相手との信頼関係が深まること、相手の話しを引き出す事ができるということがとても参考になりました。
- ・自己理解の方法であったり考え方を知ることができた。最後に質問もさせていただいて、これまでの取り組みを再確認できた。
- ・寄り添える先生。聴ける先生。新しい知識と工夫する授業展開。のお話が印象に残りました。
- ・生徒のことをよく知るということで悩んでおりました。その中で生徒のことを引き出せる方法を教えていただけて本当に良かったです。
- ・対人地図作りが初めての経験でとても参考になりました。子どもたちに早速実践させてみたいと思いました。
- ・対人地図作りははじめての経験で実際の場面では私の中ではまだ想像ついていませんが部活等でも使うことができるなと思いました。また、大学から何度も聞いたことのある傾聴ですがどの講話を聞いていてもどれだけ重要なことなのか再度認識することができました。

